



*Japan Student Services Organization*

# JASSOソーシャルファイナンス

## 資金充当・社会的インパクトレポート

### 2023年度

2024年11月

- 本機構は、奨学金事業を通じてSDGsの目標4.「すべての人に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する。」の達成に貢献するとともに、留学生交流の推進などを行う留学生支援事業、キャリア教育・就職支援や障害のある学生等への支援などを行う学生生活支援事業にも取り組んでいます。

## 奨学金事業

憲法、教育基本法に定める「教育の機会均等」の理念のもと、経済的理由で修学が困難な優れた学生等に学資の貸与及び給付を行っています。

- 貸与奨学金
- 給付奨学金

## 留学生支援事業

グローバル化が進展する中、留学生交流を一層推進するため、外国人留学生の受入れ・日本人留学生の派遣の両面から、奨学金の支給、情報提供等の支援事業を行っています。

- 外国人留学生の受入れ
- 日本人学生の海外留学推進
- 留学生交流担当教職員等への支援

## 学生生活支援事業

キャリア教育・就職支援や障害のある学生等への支援など、政策上特に重要性が高いものについて、好事例の収集・提供、調査、研修等を通じ、大学等の取組を支援しています。

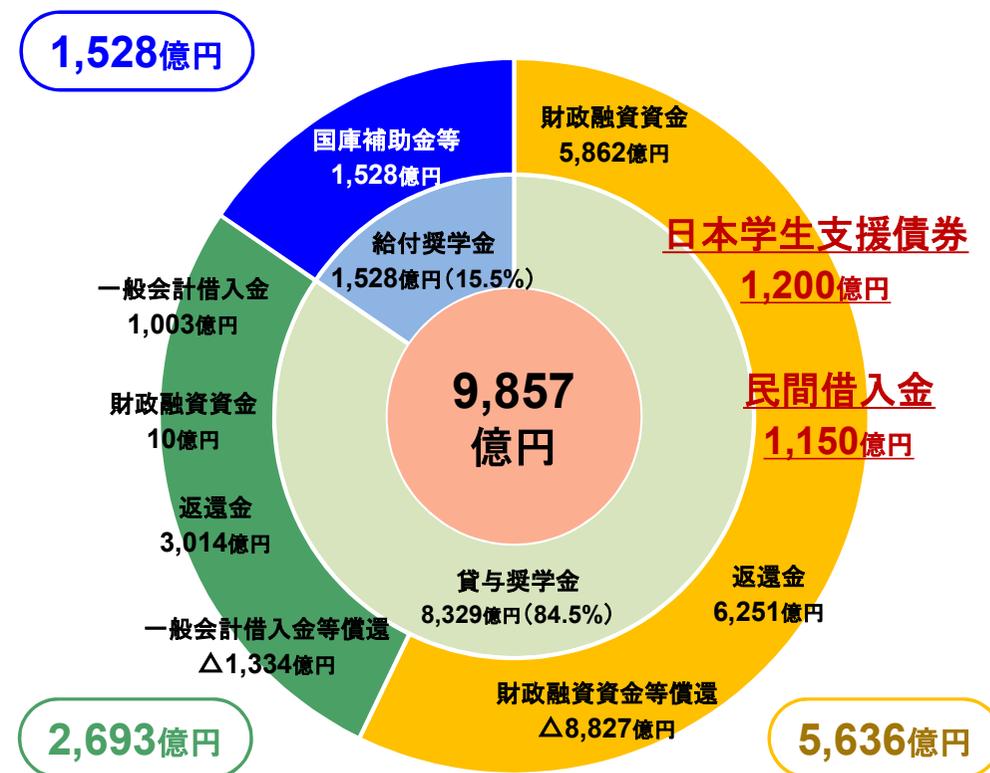
- キャリア教育・就職支援事業
- 障害のある学生や固有のニーズがある学生の支援
- 学生生活・学生生活支援に関する情報の収集・分析・提供

# プロジェクトの概要(1)

- 貸与・給付する学資金を「奨学金」といい、奨学金の貸与・給付を受ける者を「奨学生」といいます。
- 奨学金には、「給付奨学金」と「貸与奨学金」があり、貸与奨学金には「第一種奨学金」と「第二種奨学金」があります。

## 令和5年度 奨学金事業に係る財源内訳(実績)

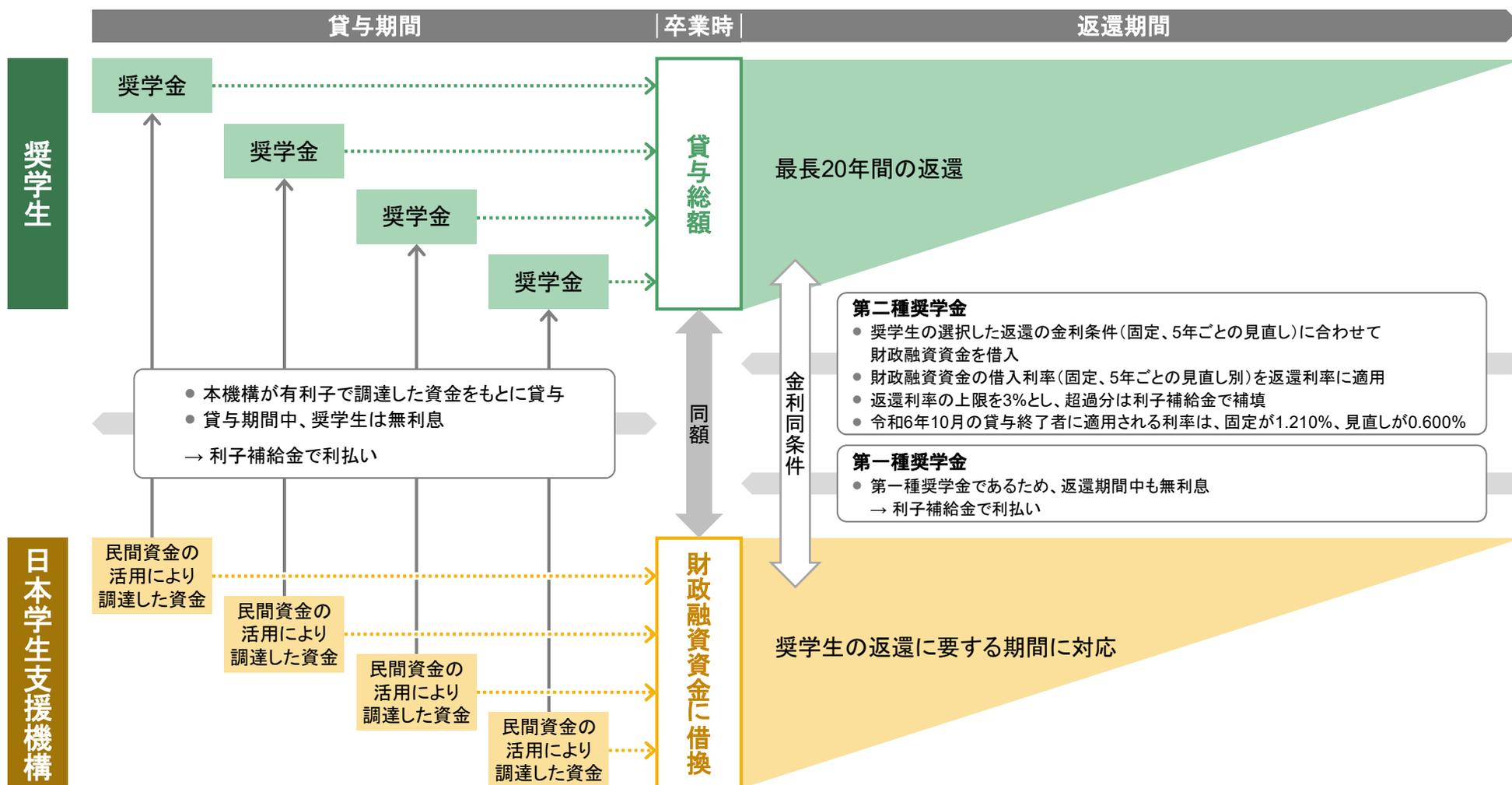
<b>給付奨学金</b>	意欲と能力のある若者が経済的理由により進学を断念することがないように、給付奨学金を交付することにより、大学等への進学を後押しすることを目的とした、原則として <b>返還義務のない奨学金</b> です。
<b>貸与奨学金 第一種奨学金</b>	<b>昭和18年度にスタートした制度で、無利息で貸与を行う奨学金</b> です。 特に優れた学生・生徒で、経済的理由により著しく修学が困難な者に貸与しています。
<b>貸与奨学金 第二種奨学金</b>	<b>昭和59年度にスタートした制度で、利息を付して貸与を行う奨学金</b> です。 第一種奨学金よりも緩やかな基準によって選考された者に貸与しています。



# プロジェクトの概要(2)

- ソーシャルファイナンスにより調達した資金は、「**第一種奨学金**及び**第二種奨学金の学資金**」として、奨学生に貸与されます。

## 資金の流れ



※ 民間資金(債券発行及び借入金)の活用により調達した資金は、在学中資金に充当

- 日本学生支援機構[Japan Student Services Organization 略称: JASSO]のソーシャルファイナンス・フレームワークに基づき調達された資金は、JASSOの貸与奨学金として活用され、以下のインパクトの実現に寄与しています。

我が国の大学等において学ぶ学生等  
に対する適切な修学の環境を整備

次代の社会を担う豊かな人間性を  
備えた創造的な人材の育成

# 資金使途・社会的便益に関するレポート内容(1)

- ソーシャルファイナンスによる調達資金は、すべて「第一種奨学金及び第二種奨学金の在学中資金」に充当されております。

## 日本学生支援債券により調達した資金の使途

年度	回号	発行日	償還日	資金充当額	未充当の資金充当残高	リファイナンス比率
令和4年度	第69回債	R04.11.09	R06.11.20	300億円	0円	0%
	第70回債	R05.02.08	R07.02.20	300億円	0円	0%
令和5年度	第71回債	R05.06.07	R07.06.20	300億円	0円	0%
	第72回債	R05.09.07	R07.09.19	300億円	0円	0%
	第73回債	R05.11.08	R07.11.20	300億円	0円	0%
	第74回債	R06.02.07	R08.02.20	300億円	0円	0%
令和6年度	第75回債	R06.06.07	R08.06.19	300億円	0円	0%
	第76回債	R06.09.09	R08.09.18	300億円	0円	0%
	第77回債	R06.11.07	R08.11.20	300億円	0円	0%

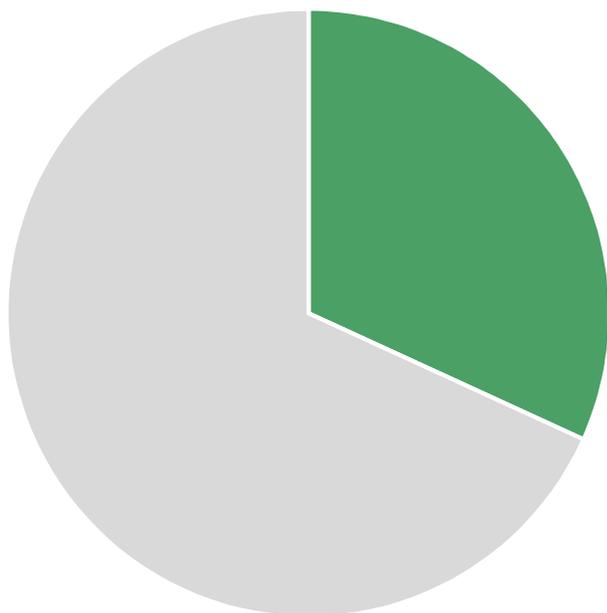
## 民間借入により調達した資金の使途

年度	借入日	償還日	資金充当額	未充当の資金充当残高	リファイナンス比率
令和5年度	R06.01.09	R07.01.08	380億円	0円	0%
	R06.02.07	R07.02.06	380億円	0円	0%
	R06.03.07	R07.03.07	390億円	0円	0%

## 参考情報

年度	貸与奨学金 総貸付残高	貸与奨学金 当年度貸与額	ソーシャルボンド残高	ソーシャルローン残高
令和5年度末	93,701億円	8,329億円	2,400億円	1,150億円

## 資金使途・社会的便益に関するレポート内容(2)



貸与割合

30.5%

3.3人に1人

- 令和5年度の我が国の高等教育機関で学ぶ**学生363万人のうち、111万人がJASSOの貸与奨学金を利用**しており、その割合は**30.5%**になります。
- **3.3人に1人**の学生がJASSOの貸与奨学金を利用していることになります。

### 参考情報 高等教育機関への進学率等

年度	18歳人口 出所:文部科学省「学校基本調査」	高等教育機関への進学率 出所:文部科学省「学校基本調査」	高等教育機関で学ぶ学生数 出所:本機構	貸与奨学金利用者数 出所:本機構	貸与割合
令和5年度	110万人	84.0%	362.8万人	110.7万人	30.5%

# 資金使途・社会的便益に関するレポート内容(3)

## 第一種奨学金

### 社会的便益関連

年度	年度別 第一種奨学金貸与人員	年度別 第一種奨学金貸与金額	基準を満たす申請者のうち 奨学金を貸与された 奨学生の割合
令和5年度	46.2万人	2,693億円	100%
(参考) 令和4年度	46.7万人	2,723億円	100%

第一種奨学金貸与人員 詳細(令和5年度)	貸与人員	貸与金額	在学学校数			
			計	国立	公立	私立
第一種奨学金(全体)	46.25万人	2,692.7億円	3,461校	187校	296校	2,978校
大学・短大	34.58万人	1,904.4億円	1,077校	83校	114校	880校
大学院	4.38万人	399.1億円	551校	85校	78校	388校
高等専門学校	0.13万人	4.3億円	56校	51校	3校	2校
専修学校(専門課程)	7.16万人	384.9億円	2,310校	49校	177校	2,084校

# 資金使途・社会的便益に関するレポート内容(4)

## 第二種奨学金

### 社会的便益関連

年度	年度別 第二種奨学金貸与人員	年度別 第二種奨学金貸与金額	基準を満たす申請者のうち 奨学金を貸与された 奨学生の割合
令和5年度	64.4万人	5,636億円	100%
(参考) 令和4年度	66.5万人	5,754億円	100%

第二種奨学金貸与人員 詳細(令和5年度)	貸与人員	貸与金額	在学学校数			
			計	国立	公立	私立
第二種奨学金(全体)	64.43万人	5,636.2億円	3,481校	185校	297校	2,999校
大学・短大	51.48万人	4,395.6億円	1,081校	83校	114校	884校
大学院	0.54万人	58.7億円	436校	84校	58校	294校
高等専門学校	0.03万人	2.2億円	55校	50校	3校	2校
専修学校(専門課程)	12.37万人	1,179.7億円	2,324校	48校	178校	2,098校

## 奨学金の返還に関する各種制度

### 減額返還制度

(月々の約束した金額の返還は困難であるが、減額すれば返還できる場合)

- 災害、傷病、その他経済的理由により奨学金の返還が困難な方の中で、月々の約定金額を減額すれば返還可能である方<sup>※</sup>を対象として、一定期間、割賦金を3分の2、2分の1、3分の1又は4分の1に減額し、減額返還適用期間に応じて、返還期間を延長する制度です。

減額返還制度の適用期間	減額返還制度を適用できる期間は <b>最長15年</b>
-------------	------------------------------

※ 平成29年度以降採用者の第一種奨学金「所得連動返還方式」を除く

### 所得連動返還型奨学金制度(所得連動返還方式)の実施

- 平成29年度から、返還月額が前年の所得に連動する、新たな所得連動返還型奨学金制度を実施。(第一種奨学金のみ)

### 返還期限猶予制度

(現在の返還が困難であるため、一定期間返還を待ってほしい場合)

- 災害、傷病、経済困難、失業、生活保護受給中などの返還困難な事情が生じた場合に、願出により返還期限を猶予する制度です。

返還期限猶予制度の適用期間	返還期限猶予制度を適用できる期間は <b>通算10年</b> (一部事由により制限なし)
延滞者への返還期限猶予の適用	延滞者であっても、傷病、生活保護受給中等、真に返還が困難な場合は、延滞分を据え置き、 <b>猶予申請日より返還期限猶予を適用</b>

### 返還免除制度

- 死亡、精神・身体の障害によって返還ができなくなった場合に、願出により返還を免除する制度です。  
このほかに、大学院で受けた第一種奨学金については、「特に優れた業績による返還免除制度」を設けています。

# 資金使途・社会的便益に関するレポート内容(6)

- 奨学金の利用を考えている高校生・大学生等を対象に、進学又は修学するために必要な経済的負担についての不安を軽減し、安心して奨学金を利用するための情報を提供しています。

## スカラーシップ・アドバイザー派遣事業

- JASSOの研修を修了し、「スカラーシップ・アドバイザー」の認定を受けたファイナンシャルプランナーを希望する学校等に派遣し、奨学金制度について説明するとともに、進学・修学のための資金計画の説明・助言等を行う事業です。  
事業を開始した平成29年度以降、全国の高等学校等に、2,727件の派遣実績があります。(令和6年2月末現在)

※ オンライン版ガイダンスの配信も実施しております。

対象者		
	大学等への進学を考えている、高校生やその保護者 等	
派遣先 (例)	高等学校、高等課程を置く専修学校等	「総合的な学習の時間」、進学説明会、保護者会 等
	大学、専門課程を置く専修学校等	在学する学生向けの資金計画説明会 高校生等向けの学校説明会 オープンキャンパス 等
	教育委員会、PTA等	各教育委員会の進学説明会、PTAセミナー 等
	児童養護施設、社会福祉協議会等	児童養護施設等での進学を希望する在学者向け行事、社会福祉協議会主催の進学のための教育資金の説明会 等

## 進学後の資金に関する情報提供

進学マネー・ハンドブック	高等学校等の教員を対象に、生徒や保護者等に対して、大学等への進学のためのマネープランに関してアドバイスができるよう、必要な情報をまとめた冊子を作成
進学資金シミュレーター	進学のための資金計画を試算することで、進学後に必要な資金を把握することが可能なシミュレーター
奨学金貸与・返還シミュレーション	奨学金の貸与額や将来の返還額等を試算することで、奨学金を申込み前に必要な貸与額を確認することが可能なシミュレーター



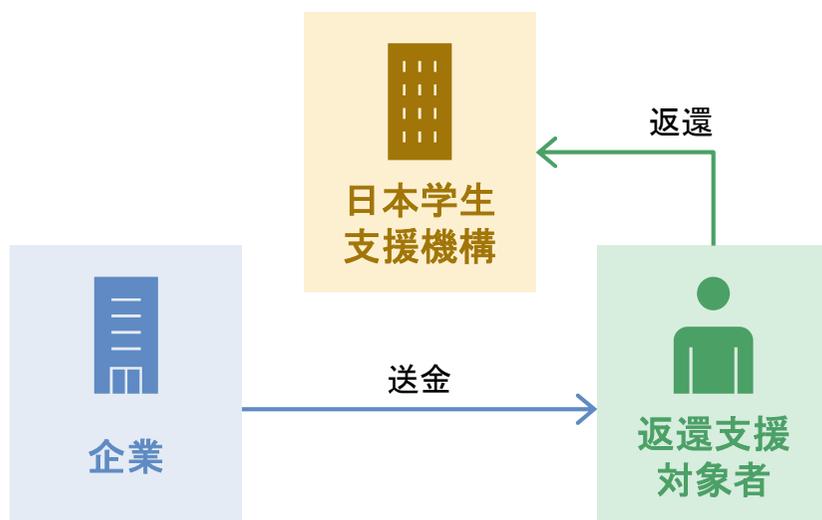
「進学マネー・ハンドブック」

# 資金使途・社会的便益に関するレポート内容(7)

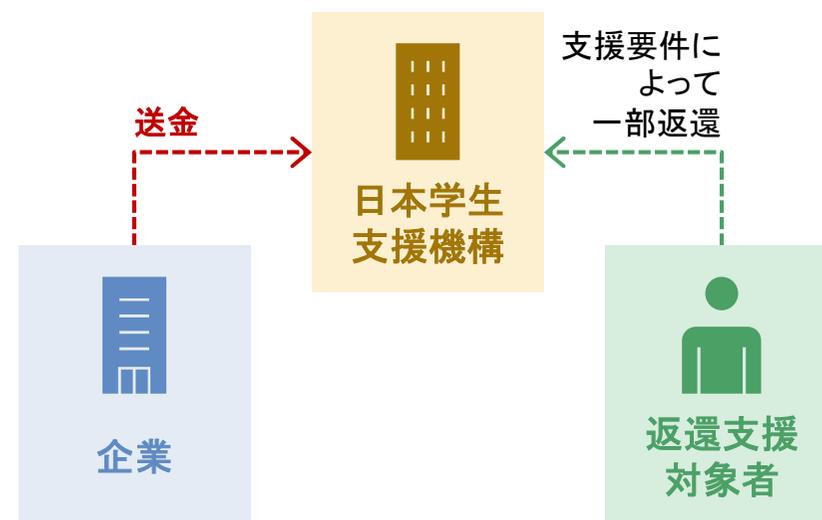
- 将来、各企業の担い手となる奨学金返還者を応援するための取組として、各企業で実施している奨学金返還支援（代理返還）について、一定の条件の下で直接受け付けることとしています。
- 本機構の貸与奨学金（第一種奨学金・第二種奨学金）を受けていた社員（返還支援対象者）に対し、企業が返還残額の一部又は全額を支援するものです。
- **本制度の概要やお問い合わせ先**は以下をご参照ください。  
<https://dairihenkan.jasso.go.jp/>
- **本制度を利用している又は利用予定の企業名及び返還支援要件等の情報**を本機構ホームページに掲載しております。  
<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/kigyoshien/index.html> 

## 奨学金返還支援（代理返還）

～2021.3.31 企業 ⇒ 返還者 ⇒ 本機構



2021.4.1～ 企業 ⇒ 本機構への直接送金も可能

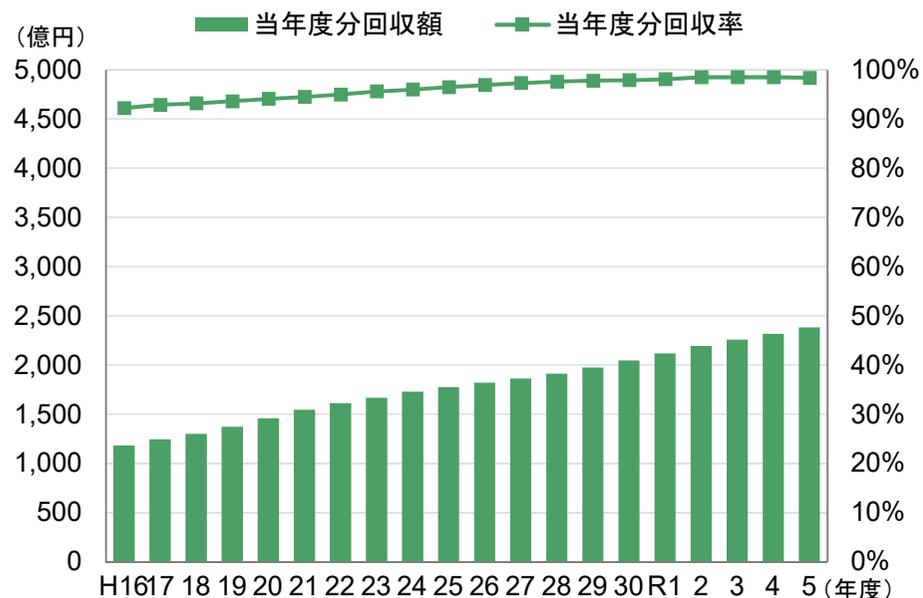


# 資金使途・社会的便益に関するレポート内容(8)

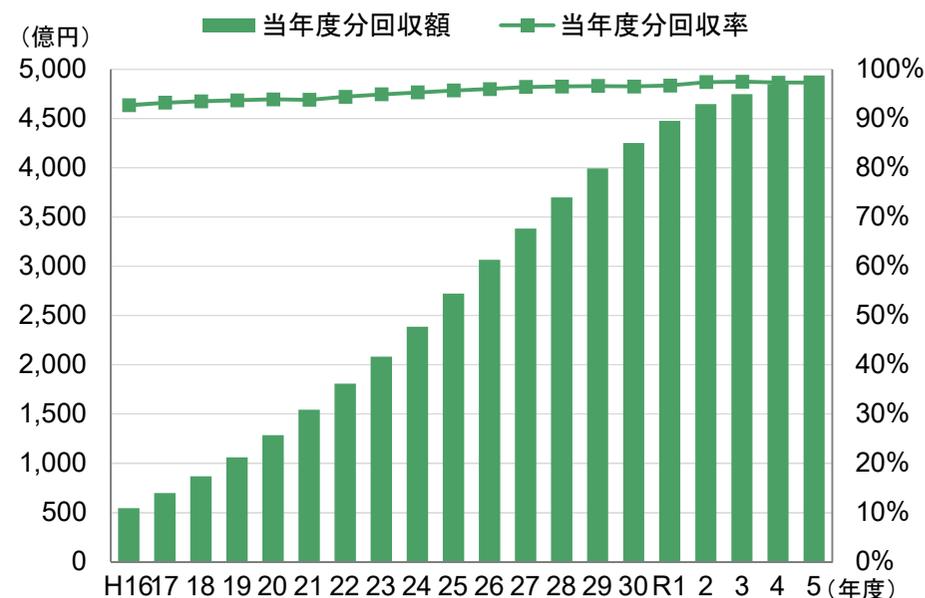
- 令和5年度に返還期日が到来したものの回収率は、第一種奨学金が**98.4%**、第二種奨学金が**97.3%**となっています。

## 返還金の回収状況

### 第一種奨学金



### 第二種奨学金



## (参考)債権の状況

(単位: 億円)

	第一種奨学金					第二種奨学金					全体				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
総貸付残高(A)	29,123	29,173	29,034	28,840	28,609	66,943	66,747	66,322	65,772	65,092	96,067	95,920	95,356	94,613	93,701
要返還債権(B)	20,854	21,523	22,031	22,447	22,574	53,387	53,611	53,525	53,140	52,709	74,240	75,134	75,556	75,587	75,283
3ヵ月以上延滞債権(C)	610	533	512	509	511	1,799	1,536	1,505	1,553	1,602	2,409	2,069	2,017	2,062	2,113
総貸付残高に対する3ヵ月以上延滞債権比率(C/A)	2.1%	1.8%	1.8%	1.8%	1.8%	2.7%	2.3%	2.3%	2.4%	2.5%	2.5%	2.2%	2.1%	2.2%	2.3%
要返還債権に対する3ヵ月以上延滞債権比率(C/B)	<b>2.9%</b>	<b>2.5%</b>	<b>2.3%</b>	<b>2.3%</b>	<b>2.3%</b>	<b>3.4%</b>	<b>2.9%</b>	<b>2.8%</b>	<b>2.9%</b>	<b>3.0%</b>	<b>3.2%</b>	<b>2.8%</b>	<b>2.7%</b>	<b>2.7%</b>	<b>2.8%</b>

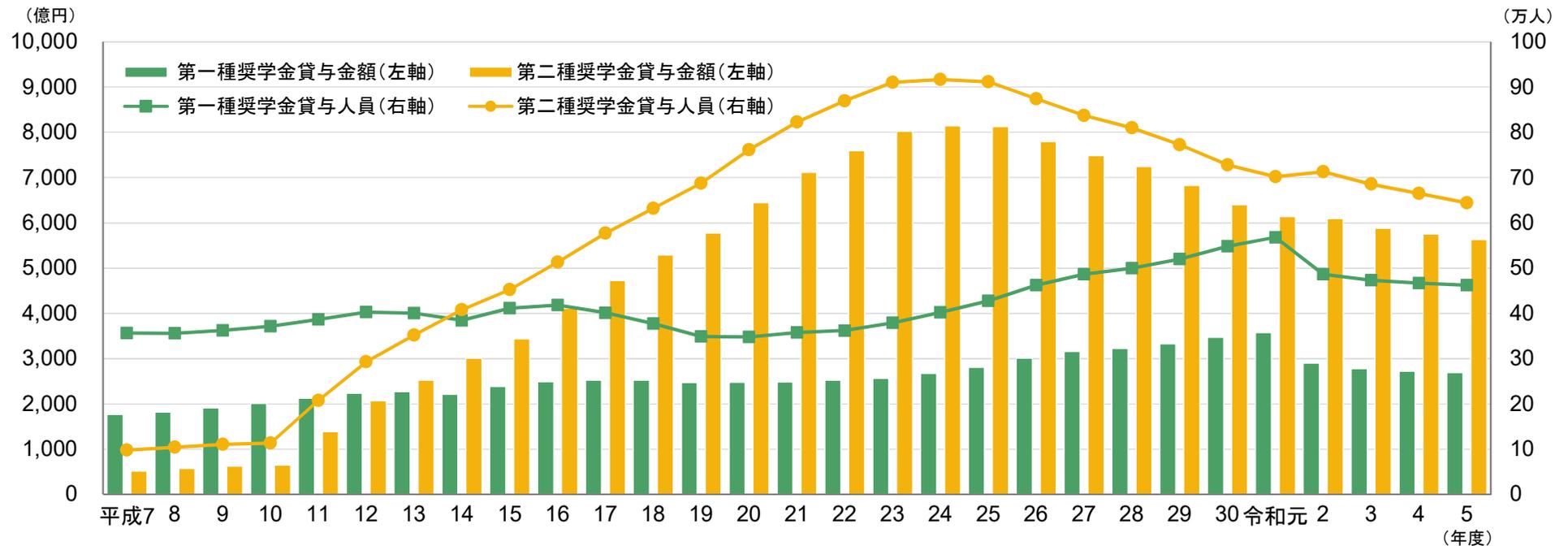
# (参考)貸与奨学金の推移

- 意欲と能力のある学生・生徒が、経済的事由により修学を断念することがないよう、貸与基準を満たす希望者全員に対する貸与を確実に実施することとしています。
- 第一種奨学金については、平成29年度以降、残存適格者を解消するとともに、住民税非課税世帯等の学生・生徒に係る成績基準を実質的に撤廃しています。
- 第二種奨学金については、平成11年4月に制度の抜本的拡充を行うとともに、採用基準についても緩和しました。

## 令和6年度の予算規模

	貸与人員	貸与金額
第一種	46.6万人	2,733億円
第二種	66.3万人	5,820億円
計	112.9万人	8,553億円

## 年度別奨学金貸与金額及び人数



本機構(旧日本育英会を含む)の奨学金貸与事業では、事業開始(昭和18年)以来、**81年間で約1,521万人**に対して、奨学金を貸与(**累計額約25兆円**)しています。

# (参考)ソーシャルファイナンス・フレームワーク(概要)

- 本機構は、国際資本市場協会(ICMA)が定めるソーシャルボンド原則(SBP)2021、ローン・マーケット・アソシエーション(LMA)、アジア太平洋ローン・マーケット・アソシエーション(APLMA)及びローン・シンジケート&トレーディング・アソシエーション(LSTA)が定めるソーシャルローン原則2023、及び金融庁のソーシャルボンドガイドライン2021年版に基づき、ソーシャルファイナンス・フレームワークを策定しました。
- 本フレームワークについて、2023年4月14日にESG評価機関である株式会社日本格付研究所より、これらの原則やガイドラインに適合している旨のセカンドオピニオンを取得しました。

## 1 調達資金の使途

- ソーシャルファイナンスにより調達(ボンド及びローン)した資金は、貸与奨学金に充当されます。
- 奨学金貸与事業は、国連の持続可能な開発目標(SDGs)の内、目標4.「すべての人に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」の達成に貢献しています。

## 3 調達資金の管理

- ソーシャルファイナンスにて調達された資金は、貸与奨学金専用の預金口座において管理し、貸与奨学金に充当されます。
- 仮に災害等により、奨学金の送金が延期になった場合、本機構が管理を継続し、延期等の原因が解消され次第、直ちに送金します。

## 2 プロジェクトの評価と選定のプロセス

- 奨学生の採用プロセスは、学校長からの推薦の上、本機構が選考により実施しています。奨学生の選考に際しては、人物、学力及び家計の各基準に基づき、総合的に判断しています。
- 原則として、基準を満たす申請者全員に対して貸与することとしています。

## 4 レポーティング

- 毎事業年度、業務実績等報告書・財務諸表等を作成し、文部科学大臣の評価・承認を受けています。
- 毎事業年度、資金充当・社会的インパクトレポートを通じて、プロジェクトへの貸与奨学金の充当状況や社会的便益を公表しています。



- 本資料は、投資家の皆さまへの情報提供のみを目的としたものであり、債券の募集、売出し、販売などの勧誘を目的としたものではありません。
- 債券のご投資判断にあたりましては、当該債券の発行にあたり作成された債券内容説明書など、入手可能な直近の情報を必ずご確認ください、皆さまご自身の責任でご判断くださいますようお願い申し上げます。

## シンボルマーク



グリーン色の部分は、若者が可能性をひらくすがたを“翼”のかたちであらわしています。

オレンジ色の部分は、若者たちを支援する日本学生支援機構の役割を“掌”のかたちであらわしています。

この2つの図形が合体し、アルファベットの“S”をかたちづくっています。

**“S”はStudent Services の頭文字を意味しています。**

翼のグリーン色は、若者たちが成長していくすこやかさを、掌のオレンジ色は、若者たちを見守る日本学生支援機構の理念と活動の姿勢をあらわしています。

お問い合わせ先

独立行政法人日本学生支援機構 財務部資金管理課

TEL: 03-6743-6024 (ダイヤルイン) FAX: 03-6743-6665

投資家の皆さま向けのホームページもございます

<https://www.jasso.go.jp/about/ir/index.html>

JASSO IR情報



検索

